

疫学・健康政策学講座

Epidemiology and Health Policy

教授	関根 道和	Michikazu Sekine
助教	立瀬 剛志	Takashi Tatsuse
助教	山田 正明	Masaaki Yamada

◆ 原著

- 1) Cable N, Chandola T, Lallukka T, Sekine M, Lahelma E, Tatsuse T, Marmot MG. Country specific associations between social contact and mental health: evidence from civil servant studies across Great Britain, Japan and Finland. *Public Health*. 2016 Aug; 137: 139-46.
- 2) Lahelma E, Pietiläinen O, Ferrie J, Kivimäki M, Lahti J, Marmot M, Rahkonen O, Sekine M, Shipley M, Tatsuse T, Lallukka T. Changes over time in absolute and relative socioeconomic differences in smoking: A comparison of cohort studies from Britain, Finland, and Japan. *Nicotine Tob Res*. 2016 Aug; 18: 1697-704.
- 3) Lahti J, Sabia S, Singh-Manoux A, Kivimäki M, Tatsuse T, Yamada M, Sekine M, Lallukka T. Leisure time physical activity and subsequent physical and mental health functioning among midlife Finnish, British and Japanese employees: a follow-up study in three occupational cohorts. *BMJ Open*. 2016 Jan 6; 6(1): e009788.
- 4) Nagata Y, Watanabe T, Nagasaka K, Yamada M, Saito M, Yazaki T, Komatsu K, Sano M, Asano K, Ando C, Taniuchi N. Clinical search for undiagnosed mesenteric phlebosclerosis at outpatient departments specializing in herbal (Kampo) medicine. *Intern Med*. 2016; 55(6): 573-81. doi: 10.2169/internalmedicine.55.5642. Epub 2016 Mar 15.
- 5) Nagata Y, Watanabe T, Nagasaka K, Yamada M, Murai M, Takeuchi S, Murase M, Yazaki T, Murase T, Komatsu K, Kaizuka M, Sano M, Asano K, Ando C, Taniuchi N. Total dosage of gardenia fruit used by patients with mesenteric phlebosclerosis. *BMC Complement Altern Med*. 2016 Jul 11; 16: 207. doi: 10.1186/s12906-016-1182-1.
- 6) 中堀伸枝*, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志. 子どもの食行動・生活習慣・健康と家庭環境との関連: 文部科学省スーパー食育スクール事業の結果から. *日公衛誌*. 2016 Apr ; 63 : 190-201.

◆ 症例報告

- 1) Yamada M, Yamada K, Fujinami H. Colonoscopic reduction of colo-colic intussusception in an adult with immunoglobulin A vasculitis (Henoch-Schönlein purpura). *Dig Endosc*. 2016 Jan; 28(1): 101. doi: 10.1111/den.

◆ 学会報告

- 1) Sekine M, Suzuki M, Kido H, Yamada M, Tatsuse T. The projected number and prevalence of dementia in Japan: results from the Toyama Dementia Survey. *The 24th European Congress of Psychiatry*; 2016 Mar 12-15; Madrid.
- 2) Yamada M, Sekine M, Suzuki M, Tatsuse T, Kido H. Factors related to physical and mental health among family caregiver's of dementia elderly: the Toyama dementia survey, Japan. *The 23rd Nordic Congress of Gerontology*; 2016 Jun 19-22; Tampere, Finland.
- 3) Yamada M, Hasegawa Y, Sekine M, Yamashiro S. Comprehensive assessment of ultrasound seminar in gastrointestinal tract. *The 12th Congress of the Asian Federation of Society for Ultrasound in Medicine and Biology*; 2016 May 27-29; Kyoto.
- 4) 関根道和, 鈴木道雄, 木戸日出喜, 山田正明, 立瀬剛志. 日本の認知症高齢者数・有病率の将来予測: 富山県認知症高齢者実態調査の結果から. 第26回日本疫学会学術総会; 2016 Jan 26-28; 米子.
- 5) 関根道和, 林 裕志, 天神久実, 山田正明, 立瀬剛志. 富山県における認知症高齢者数と有病率の将来予測~富山県認知症高齢者実態調査の結果から~. 第50回富山県公衆衛生学会; 2016 Feb 9; 富山.
- 6) 天神久実**, 林 裕志, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志. 長谷川式認知症スケールと認知症受診歴との関係~富山県認知症高齢者実態調査の結果から~. 第50回富山県公衆衛生学会; 2016 Feb 9; 富山.
- 7) 林 裕志**, 天神久実, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志. 富山県の二次医療圏別の認知症有病率と関連要因および医療資源に関する分析~富山県認知症高齢者実態調査の結果から~. 第50回富山県公衆衛生学会; 2016 Feb 9; 富山.
- 8) 河村良彦, 佐野哲文, 佐野正之, 山田正明, 関根道和. 口腔外傷児童の性格行動パターンとの関連性について. 第

50回富山県公衆衛生学会；2016 Feb 9；富山。

- 9) 小浦 詩*, 山田正明, 立瀬剛志, 関根道和, 三原 弘, 村上美也子. 医学科3年生のワークライフバランスに関するアンケート報告. 第70回富山県医学会；2016 Mar 13；富山. (優秀賞受賞)
- 10) 山田正明, 関根道和, 立瀬剛志. 認知症高齢者を見る家族介護者の健康における関連要因—平成26年度富山県認知症高齢者実態調査から—. 第70回富山県医学会；2016 Mar 13；富山.
- 11) 中堀伸枝*, 関根道和, 立瀬剛志, 山田正明, 林 裕志, 天神久実. 認知症と生活習慣・既往歴との関連. 第70回富山県医学会；2016 Mar 13；富山. (優秀賞受賞)
- 12) 山田正明, 長谷川雄一, 関根道和, 山城清二, 浅野幸宏, 丸山憲一. 消化管超音波の実技セミナーによる教育効果. 第89回日本超音波医学会学術集会；2016 May 27-29；京都.
- 13) 立瀬剛志, 花崎有紀子, 藤森純子, 鈴木道雄. 老年期におけるQOLと退職までの仕事態度—「CASP19」尺度による検討—. 第35回日本社会精神医学会総会；2016 Jun 28-29；岡山.
- 14) 藤森純子, 立瀬剛志, 山西潤一, 鏡森定信, 中森義輝, 本田 徹, 永田勝太郎. 実践研究報告—高齢者の実存的悩みへの支援に取り組もうとする人々の特性—. 第57回日本社会医学会総会；2016 Aug 6-7；草津.
- 15) 立瀬剛志, 関根道和, 山田正明, 藤村裕子. 職場環境改善によるメンタルヘルス施策に向けた質的量的混合分析—日本公務員研究—. 第75回日本公衆衛生学会総会；2016 Oct 26-28；大阪.
- 16) 山田正明, 関根道和, 立瀬剛志. 小児における便秘の関連要因：富山出生コホート研究から. 第75回日本公衆衛生学会総会；2016 Oct 26-28；大阪.
- 17) 藤村裕子, 関根道和, 立瀬剛志, 山田正明. 職域集団縦断研究における職場及び家庭環境の変化のWork Family Conflictへの影響. 第75回日本公衆衛生学会総会；2016 Oct 26-28；大阪.
- 18) 立瀬剛志, 藤森純子. 富山県における自殺対策格差の検討—ゲートキーパーの育成とその課題—. 第32回日本ストレス学会；2016 Oct 29-30；東京.
- 19) 新村哲夫, 松永憲治, 清水教子, 清水忠道, 立瀬剛志, 山田正明, 関根道和, 油本智美, 升方章人. 足浴による海洋深層水効果の検討. 第20回海洋深層水利用学会全国大会2016 滑川大会；2016 Nov 11-12；滑川.
- 20) 山田正明, 関根道和, 立瀬剛志. 両親の生活習慣と児童のメディア時間との関連：文部科学省スーパー食育スクール事業の追加調査から. 第73回北陸学校保健学会；2016 Nov 27；金沢.

◆ その他

- 1) Sekine M. symposium: socioeconomic and gender inequalities in physical functioning: international comparative studies on British, Finnish, and Japanese civil servants. International Association for Cross-Cultural Psychology, The 23rd International Congress; 2016 Jul 30-Aug 3; Nagoya.
- 2) 関根道和. 年俸制の業績給判定における分野別職位別標準化得点の妥当性. 富山大学医学部執行部会議資料. 2016 Feb 2. (IR 報告)
- 3) 関根道和. 平成29年度学士編入第1次選抜試験(学力試験)結果分析(入試IR). 2016 Jun 13. (IR 報告)
- 4) 三原 弘, 関根道和. 平成27年度後期専門科目学生による授業評価アンケート結果分析(医学教育IR). 2016 Jun 21. (IR 報告)
- 5) 関根道和. 脳卒中情報システムとTOY STOREの重複登録症例数について. 富山県厚生部健康課. 2016 Nov 16. (報告)
- 6) 立瀬剛志. ライフリテラシー教育. 平成27年度キャリア教育全体研修会. 富山県立雄峰高等学校；2016 Feb 9；富山. (講演)
- 7) 関根道和. 平成27年度受審校の事例報告—自己点検評価, 実地調査を受けて. 平成27年度文部科学省大学改革推進事業(基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成)公開シンポジウム「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」—医学教育分野別認証制度発足に向けて—；2016 Feb 12；富山.
- 8) 立瀬剛志. 自殺の現状と対策—日常の支援を通じた自殺予防. 黒部市ゲートキーパー研修会；2016 Feb 13；黒部. (講演)
- 9) 立瀬剛志. 健康を支え合う地域づくり. 滑川市健康づくりボランティア養成講座；2016 Feb 26；滑川. (講演)
- 10) 立瀬剛志. 地域で支え合うために. 上市町ゲートキーパー養成講座；2016 Feb 29；上市. (講演)
- 11) 立瀬剛志. 自殺対策としてのゲートキーパー～基礎知識と心構え～. 舟橋村ゲートキーパー養成研修会；2016 Mar 1；舟橋. (講演)
- 12) 立瀬剛志. ケアのある暮らし～対人ストレス対処～. 北陸内観懇話会さわやか会；2016 Mar 13；富山. (講演)

- 13) 立瀬剛志. 退職後の健康と豊かな暮らしー健康寿命の延伸を目指してー. 富山県職員「永年勤続者を送る集い」; 2016 Mar 31; 富山. (講演)
- 14) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2016 Apr 13; 富山. (講演)
- 15) 立瀬剛志. 自殺予防とは. ゲートキーパーネット 28 年度第 1 回研修会; 2016 May 7; 富山. (講演)
- 16) 山田正明. 環境衛生 I (疫学). 独立行政法人国立病院機構富山病院付属看護学校; 2016 May 13; 富山. (講演)
- 17) 立瀬剛志. ケアのある暮らし〜コミュニケーションを考える〜. 北陸内観懇話会さわやか会; 2016 May 15; 富山. (講演)
- 18) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2016 May 20; 富山. (講演)
- 19) 山田正明. 環境衛生 I (疫学). 独立行政法人国立病院機構富山病院付属看護学校; 2016 May 25; 富山. (講演)
- 20) 関根道和. こちよ睡眠で生活習慣病を予防しよう. みたか健康づくりセミナー「こちよ睡眠をとるために」; 2016 May 27; 三鷹. (講演)
- 21) 関根道和. 認知症一千万人時代に向けた社会環境の整備を考えるー富山県認知症高齢者実態調査の追加分析結果からー. 富山県公衆栄養研究会研修会; 2016 Jun 1; 富山. (講演)
- 22) 関根道和. インストラクショナルデザインを活用した授業改善〜ARCS モデルによる疫学講義を例に〜. 平成 28 年度第 1 回富山大学医学部 FD 「学習意欲を高める授業」; 2016 Jun 3; 富山. (FD 講演)
- 23) 立瀬剛志. ケアウィル講座の仕組みープログラムにみる学習効果. ケアウィルサポート塾. 富山大学地域医療・保健支援部門; 2016 Jan 23; 富山. (講演)
- 24) 立瀬剛志. 社会で子どもを育てるためにー睡眠・そして心の健康を考えるー. 中新川郡学校保健会研修会; 2016 Jun 27; 上市. (講演)
- 25) 立瀬剛志. 地域社会と健康. ケアウィルサポート塾. 富山大学地域医療・保健支援部門; 2016 Jan 30; 富山. (講演)
- 26) 山田正明. 生活習慣と睡眠の大切さ. 砺波南部小学校ー富山県砺波厚生センターヤングヘルスセミナー事業; 2016 Jul 1; 砺波. (講演)
- 27) 関根道和. 医学教育のグローバル・スタンダード 分野別認証評価にもとづく医学教育改革について. 平成 28 年度第 2 回富山大学医学部 FD 「国際基準からみた富山大学の医学教育」; 2016 Jul 3; 富山. (FD 講演)
- 28) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2016 Jul 20; 富山. (講演)
- 29) 山田正明. 医療統計の基本. 真生会富山病院 医局会; 2016 Jul 26; 富山. (講演)
- 30) 立瀬剛志. ケアのある暮らし〜心地よい場所・関係性〜. 北陸内観懇話会さわやか会; 2016 Jul 31; 富山. (講演)
- 31) 立瀬剛志. キャリアプログラム評価法 1. 平成 28 年度第 1 回キャリア教育研修会. 富山県立雄峰高等学校; 2016 Aug 3; 富山. (講演)
- 32) 立瀬剛志. 心地よい繋がり再生ーエイジレス世代に求めるもの. 舟橋村健康構想第 1 回エイジレス研修会; 2016 Aug 12; 舟橋. (講演)
- 33) 立瀬剛志. 健康なコミュニケーションー心地のよい家族・地域を目指してー. ひきこもり家族自助会大地の会定例会; 2016 Aug 20; 富山. (講演)
- 34) 関根道和. 「早寝・早起き・朝ごはん」で生活習慣病予防. 平成 28 年度柏崎市・刈羽郡養護教員研修会; 2016 Aug 22; 新潟. (講演)
- 35) 立瀬剛志. 第 2 の人生をこころ元気に過ごすヒント. 黒部市公開講座「ケアウィル講座ー退職後のメンタルヘルス」; 2016 Aug 25; 黒部. (講演)
- 36) 立瀬剛志. 退職世代のセカンドキャリア形成とメンタルヘルス. 放送大学富山学習センター「オープンセミナー」; 2016 Aug 27; 射水. (講演)
- 37) 関根道和. 小児期からの生活習慣病予防ー富山スタディの結果からー. 第 4 回日本スポーツ健康科学学会特別講演; 2016 Sep 4; 富山. (講演)
- 38) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2016 Sep 5; 富山. (講演)
- 39) 山田正明, 長谷川雄一. 一般診療で使える消化管エコーセミナー第 2 回. とやま総合診療イノベーションセンター; 2016 Sep 9; 富山. (講演, 司会)
- 40) 山田正明, 長谷川雄一. 消化管エコー・ハンズオンセミナー. とやま総合診療イノベーションセンター第 2 回; 2016 Sep 10; 富山. (総合司会)
- 41) 立瀬剛志. エイジレス事業の目的を共有する. 舟橋村健康構想第 2 回エイジレス研修会; 2016 Sep 13; 舟橋. (講演)
- 42) 立瀬剛志. キャリアプログラム評価法 2. 平成 28 年度第 2 回キャリア教育研修会. 富山県立雄峰高等学校; 2016 Sep 28; 富山. (講演)

- 43) 立瀬剛志. エイジレス事業における関係性. 舟橋村健康構想第3回エイジレス研修会; 2016 Oct 13; 舟橋. (講演)
- 44) 山田正明. メディアの影響. 富山市立樫尾小学校; 2016 Sep 14; 富山. (講演)
- 45) 山田正明. 長時間のテレビと生活習慣の関連. 魚津市立経田小学校-富山県新川厚生センター魚津支所; 2016 Oct 5; 魚津. (講演)
- 46) 立瀬剛志. 豊かな暮らしに向けた「富山ケアウィル講座」-ポジティブエイジングが生活を変える-. 県民カレッジ「ふるさと文化探求講座」; 2016 Oct 15; 富山. (講演)
- 47) 山田正明. 学校保健委員会・元気モリモリ集会. 高岡市立二塚小学校; 2016 Oct 17; 高岡. (招待, 指導)
- 48) 関根道和. 認知症の現状と課題. 富山大学市民講座 2016. 認知症最前線-第1回認知症の現状と対策; 2016 Oct 22; 富山. (講演)
- 49) 山田正明. 認知症対策 日本とフィンランド. 富山大学市民講座. 富山大学地域連携推進機構; 2016 Oct 22; 富山. (講演)
- 50) 立瀬剛志. 生きがいを持って自分らしく年を重ねる~ケアウィルから学ぶ積極的介護予防~. 入善町「元氣わくわく介護予防研修会」; 2016 Oct 26; 入善. (講演)
- 51) 関根道和. 認知症の実態とその対策-認知症1千万人時代に向けて何をすべきか-. 第12回クスリのアオキ・ヘルスアップセミナーin 富山; 2016 Nov 5; 富山. (講演)
- 52) 立瀬剛志, 藤森純子. 退職期の葛藤とケアウィル-居場所と目標の喪失からの精神的回復. 第4回国際全人医療学会(第22回日本実存療法学会併会). シンポジウム「レジリエンスを高めるために」; 2016 Nov 12; 東京. (シンポジスト)
- 53) 山田正明. 学力向上につながる生活習慣の確立. 富山県立呉羽高等学校; 2016 Nov 15; 呉羽. (講演)
- 54) 関根道和. 高校生の睡眠と健康-「質」を高めて健康増進と学力向上を-. 富山県立高岡高等学校教育相談講演会; 2016 Oct 15; 高岡. (講演)
- 55) 関根道和. 眠育で健康増進・学力向上-アウトメディアを考える-. 魚沼市学校保健会講演会; 2016 Nov 19; 魚沼. (講演)
- 56) 立瀬剛志. エイジレス事業における関係性. 舟橋村健康構想第4回エイジレス研修会; 2016 Nov 28; 舟橋. (講演)
- 57) 関根道和. 職場のストレス・チェック制度を活用した健康経営を考える-日本・英国・フィンランド国際共同研究の結果から-(Strategic Use of Stress Check-up System for Health and Productivity Management: Results from International Comparative Studies of British, Finnish, and Japanese Civil Servants). サウスケンジントン会(インペリアル・カレッジ・ロンドン同窓会); 2016 Nov 26; 東京. (講演)
- 58) 関根道和. 早寝・早起き・朝ご飯で生活習慣病予防-生活習慣に与えるメディアの影響-. 上越市学校保健会研修会; 2016 Dec 1; 上越. (講演)
- 59) 山田正明. メディア時間を減らしてよい生活習慣を. 富山市立鶴坂小学校; 2016 Dec 1; 婦中. (講演)
- 60) 関根道和. 睡眠疫学にもとづくメンタルヘルス対策: 日本・英国・フィンランド国際共同研究. 平成28年度かかりつけ医のためのうつ病講習会. 富山県医師会; 2016 Dec 4; 富山. (講演)
- 61) 関根道和. 医師のキャリアを考える~医学教育とその後の人生~. 職業理解講座「エキスパートに学ぶ」. 富山県立砺波高等学校; 2016 Dec 8; 砺波. (講演)
- 62) 立瀬剛志. キャリアプログラム改正点. 平成28年度第3回キャリア教育研修会. 富山県立雄峰高等学校; 2016 Dec 27; 富山. (講演)
- 63) 関根道和. 20年後には65歳以上の4人に1人が認知症-糖尿病対策も急務な課題, 富山大で分析. Health Day News. 2016 Apr 25. (<http://healthdayjapan.com/2016/04/25/11826/>) (記事)
- 64) 関根道和. 糖尿病は認知症の重大なリスク因子-富山大の研究グループ. Health Day News. 2016 Apr 25. (<http://healthdayjapan.com/2016/04/25/11973/>) (記事)
- 65) 関根道和. 富山大学が最新推計結果を発表 2035年には県民の10人に1人が認知症に?. みんなの介護ニュース. 2016 Apr 28. (<http://www.minnanokaigo.com/news/N65105787/>) (記事)
- 66) 関根道和. 20年後には65歳以上の4人に1人が認知症-富山大.(株)産学社エンタプライズ発信~メールマガジン(No.61). 2016 May. (<http://epub.jp/archives/2608>) (記事)
- 67) 立瀬剛志. 自殺防げ我ら「命の門番」-県内にゲートキーパー団体. 北日本新聞(朝刊). 2016 May 4. (記事)
- 68) 関根道和. 20年後には65歳以上の4人に1人が認知症-糖尿病対策も急務な課題, 富山大で分析. ケアネットニュース(提供元: Health Day News). 2016 May 5. (<https://www.carenet.com/news/general/hdnj/41850>) (記事)
- 69) 関根道和. 県調査から2035年富山県高齢者の4人1人認知症になるとの予測結果. 認知症ネット認知症最新ニュー

- ス. 2016 May 6. (<https://info.ninchisho.net/archives/8854>) (記事)
- 70) 関根道和, 木戸幹雄, 山田正明, 田村須賀子, 竹内登美子, 西条寿夫, 柴原直利. 認知症最前線7人が語る 富山大学市民講座全3回. 読売新聞. 2016 Sep 30 : 28. (記事)
- 71) 関根道和. 認知症をテーマに 富山市で健康を考えるセミナー. JNN 報道特集 (番組内のチューリップテレビ枠). 2016 Nov 5. (報道)
- 72) 関根道和, 木戸幹雄, 山田正明. 飲酒, 喫煙リスク高める 富大・市民講座第1回 172人熱心に聴講. 読売新聞. 2016 Oct 23 : 32. (記事)
- 73) 関根道和. 針路を聞くー4人に1人が認知症に・地域全体で医療体制を. 日本経済新聞. 2016 Jun 1 : 35. (記事)
- 74) 関根道和. 健康増進に理解ー県公衆衛生学会. 北日本新聞. 2016 Feb 10 : 22. (記事)
- 75) 関根道和. 認知症7割受診歴なし 富山大地域連携推進機構分析. 早期発見の施策必要. 北日本新聞. 2016 Apr 14 : 29. (記事)
- 76) 関根道和. 認知症疑い7割受診せず 富山大地域連携推進機構が調査. 読売新聞. 2016 Apr 14 : 31. (記事)
- 77) 関根道和. 2035年県民1割認知症 富山大, 県調査で推計. 北陸中日新聞. 2016 Apr 14 : 16. (記事)
- 78) 関根道和. 県民「10人に1人」認知症 35年の割合 65歳以上「4人に1人」 富山大学地域連携推進機構が分析. 富山新聞. 2016 Apr 14 : 32. (記事)
- 79) 関根道和, 木戸幹雄, 山田正明, 田村須賀子, 竹内登美子, 西条寿夫, 柴原直利. 富山大学市民講座「認知症最前線」. 読売新聞. 2016 Nov 25 : 31. (記事)
- 80) 関根道和. ココがキニナル 高齢者4人に1人が認知症に. チューリップテレビ ニュース6. 2016 Apr 14. (報道)
- 81) 関根道和. 富山大学が分析 2035年高齢者4人に1人認知症に. KNB ニュース エブリ. 2016 Apr 14. (報道)
- 82) 関根道和. 県と共同で高齢者の認知症を研究, 地域課題の解決に取り組む. TOM'S PRESS. 2016 Mar : 13.